

問題別調査結果 [数学]

江戸川区立小岩第四中学校一生徒

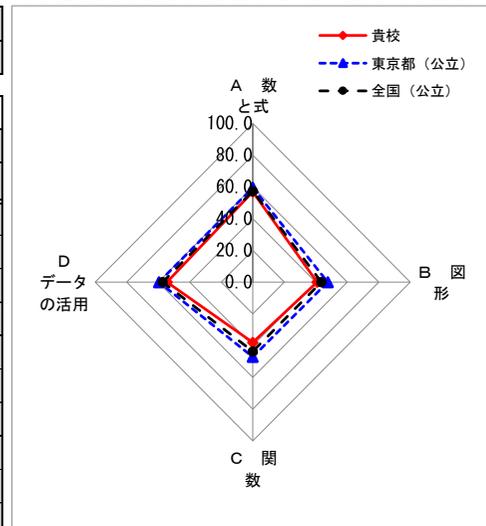
・以下の集計値／グラフは、4月19日に実施した調査の結果を集計した値である。
 ※ただし、4月19日に調査を実施していない学校については、4月20日以降5月20日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

集計結果

対象生徒数	江戸川区立小岩第四中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	128	70,865	891,913

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		14	49	54	51.4
学習指導要領の領域	A 数と式	5	56.9	59.5	57.4
	B 図形	3	40.9	47.6	43.6
	C 関数	3	38.0	47.1	43.6
	D データの活用	3	54.4	59.5	57.1
評価の観点	知識・技能	9	56.8	62.4	59.9
	思考・判断・表現	5	34.7	39.7	36.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	48.2	55.2	52.6
	短答式	5	63.6	68.2	65.7
	記述式	5	34.7	39.7	36.2

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



結果分析・課題

<全国との関係>
 ・数学について、全ての領域において全国平均正答率を下回る。
 ・「知識・技能」において3.1ポイント、「思考・判断・表現」において1.5ポイント全国平均正答率を下回る。
 ・変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ問題において、全国平均正答率と比較して著しく正答率が低い。
 ・差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する問題で、全国平均正答率と比較して正答率が高い。

<東京都との関係>
 ・数学について、全ての領域において都平均正答率を下回る。
 ・「知識・技能」において5.6ポイント、「思考・判断・表現」において5.0ポイント都平均正答率を下回る。
 ・変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ問題において、全国平均正答率と比較して著しく正答率が低い。

授業改善のポイント

・「知識・技能」、「思考・判断・表現」において全国平均正答率、都平均正答率を下回っていることから、知識・技能の習得に重点を置きつつ、その知識・技能を活用して、生徒が自ら考えられるような問題設定を行うことで、「知識・技能」、「思考・判断・表現」を並行して高められるような授業改善を行っていく。

・特に全国平均正答率、都平均正答率を下回った「変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ問題」に関しては、次のような指導を行い、生徒の理解度を高めていく。
 ともなって変わる2つの数量x,yの変化の割合を表から読み取り、一次関数 $y=ax+b$ の変化の割合を求める場面を設定し、求めることができるように指導することが大切である。